

退職等年金給付積立金の平成29年度第1四半期運用状況

○ 退職等年金給付積立金の基本的な考え方

- 基準利率は10年国債利回り等を指標とすることから、安定的なインカムゲインを確保するため国内債券を中心とした運用
- 国家公務員共済組合の事業にかかる「貸付金及び投資不動産」(共済独自資産:国内債券と同様の特性を有する)については、国家公務員共済年金積立金としての「退職等年金給付積立金(新3階積立金)及び経過的長期給付積立金(旧3階積立金)」で保有

○ 第1四半期末の運用資産額は、1,819億円となりました。

○ 第1四半期の収益額は、15億円(実現収益額)となりました。

○ 第1四半期の収益率(期間率)は、0.89%(実現収益率)となりました。

※ 年金積立金は長期的な運用を行うものであり、その運用状況も長期的に判断することが必要ですが、情報公開を積極的に行う観点から、四半期ごとに運用状況の公表を行うものです。

1. 運用資産額の状況

(単位：億円)

	平成28年度				平成29年度			
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年度末	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年度末
国内債券	704	979	1,317	1,552	1,712	-	-	-
短期資産	55	55	41	36	107	-	-	-
合計	759	1,034	1,358	1,588	1,819	-	-	-

(注1) 国内債券には、財投預託金・共済独自資産を含みます。

(注2) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

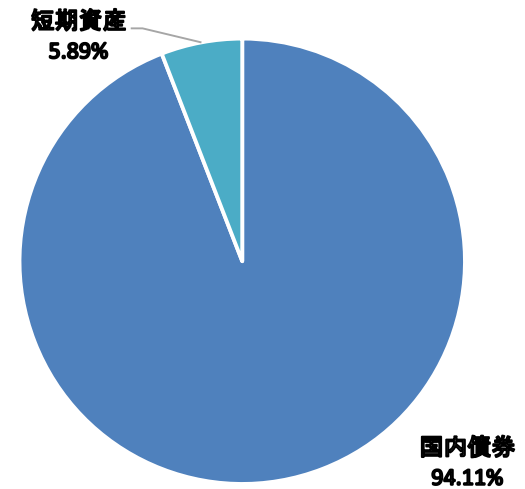
2. 資産構成割合の状況

	平成29年度 第1四半期末	
	資産額（億円）	構成割合
国内債券	1,712	94.11%
短期資産	107	5.89%
合計	1,819	100.00%

（注1）国内債券には、財投預託金・共済独自資産を含みます。

（注2）基本ポートフォリオは、国内債券100%（短期資産含む。）です。

（注3）上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。



3. 収益額の状況

(単位：億円)

	平成28年度					平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	5	7	10	13	35	15	-	-	-	15

【参考】

	平成28年度					平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	5	7	10	13	35	15	-	-	-	15
国内債券	5	7	10	13	35	15	-	-	-	15
短期資産	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0

(注1) 収益額は、運用手数料控除後のものです。

(注2) 国内債券には、財投預託金・共済独自資産を含みます。

(注3) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

4. 収益率の状況

(単位：%)

	平成28年度					平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	0.78	0.77	0.90	0.87	3.42	0.89	-	-	-	0.89

【参考】

	平成28年度					平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	0.78	0.77	0.90	0.87	3.42	0.89	-	-	-	0.89
国内債券	0.88	0.85	0.99	0.93	3.68	0.93	-	-	-	0.93
短期資産	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	-	0.00

(注1) 収益率は、運用手数料控除後のものです。また、各期間及び年度は期間率です。

(注2) 国内債券には、財投預託金・共済独自資産を含みます。